加法と 減法

中1／解き方プリント 項目3／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 同符号は 絶対値の 和に 共通の 符号。異符号は 絶対値の 差に、絶対値の 大きい 方の 符号を つける
きまり② 減法は ひく 数の 符号を 変えて 加法に する。0 から ひく ときも 同じ

れい (−2) + (+6) = +4（異符号 → 6 − 2 = 4、大きい 方 +6 の 符号）

○ (−2) − (+6) = −8　　× (−2) − (+6) = +4

・答えを 四角に 書く。−（マイナス）を 省かない。分数は 約分する。○で かこむ 問題は 1つ だけ かこむ。 加法と 減法の 符号の きまりを 使う。
・大問3は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 加法

(1) **(−5) + (+9)** ＿＿＿＿

(2) **(+4) + (−11)** ＿＿＿＿

(3) **(−6) + (−7)** ＿＿＿＿

(4) $\left(-\frac{3}{4}\right) + \left(+\frac{1}{2}\right)$ ＿＿＿＿

大問2 減法

(1) **(+4) − (−6)** ＿＿＿＿

(2) **(−9) − (+5)** ＿＿＿＿

(3) **0 − (−8)** ＿＿＿＿

(4) **(+2) − (+7)** ＿＿＿＿

大問3 まちがいを 直す

(1) **「(+3) + (−7) = −10」**

正しい　まちがい

正しい答え ＿＿＿＿

(2) **「(+6) − (−2) = 4」**

正しい　まちがい

正しい答え ＿＿＿＿

見直し □ 加法か 減法か 決めた □ ひく 数の 符号を 変えた □ 答えの 符号を 確かめた まちがい（ ）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

加法と 減法【こたえ】

中1／解き方プリント 項目3／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 同符号は 絶対値の 和に 共通の 符号。異符号は 絶対値の 差に、絶対値の 大きい 方の 符号を つける
きまり② 減法は ひく 数の 符号を 変えて 加法に する。0 から ひく ときも 同じ

れい (−2) + (+6) = +4（異符号 → 6 − 2 = 4、大きい 方 +6 の 符号）

◯ (−2) − (+6) = −8　　× (−2) − (+6) = +4

大問1 加法

(1) **(−5) + (+9)** → **4**

(2) **(+4) + (−11)** → **−7**

(3) **(−6) + (−7)** → **−13**

(4) $(-\frac{3}{4}) + (+\frac{1}{2})$ → $-\frac{1}{4}$

大問2 減法

(1) **(+4) − (−6)** → **10**

(2) **(−9) − (+5)** → **−14**

(3) **0 − (−8)** → **8**

(4) **(+2) − (+7)** → **−5**

大問3 まちがいを 直す

(1) 「(+3) + (−7) = −10」

正しい　**まちがい**

正しい答え **−4**

(2) 「(+6) − (−2) = 4」

正しい　**まちがい**

正しい答え **8**

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) 異符号 → 9 − 5 = 4、大きい 方は +9 で +4。(2) 異符号 → 11 − 4 = 7、大きい 方は −11 で −7。(3) 同符号 → 6 + 7 = 13 に − で −13。(4) 通分して $-\frac{1}{4}$。

大問2 (1) (+4) + (+6) = +10。(2) (−9) + (−5) = −14（ひかれる数の 符号は 変えない）。(3) 0 + (+8) = +8。(4) (+2) + (−7) = −5。

大問3 (1) は 異符号なのに 絶対値を たしている（正しくは −4）。(2) は ひく 数の 符号を 変えていない（正しくは +8）。

答えの + は 省いても ○。分数の 答えは 上下でも 斜め線でも ○。